

IT時事ネタキーワード「これが気になる！」(第115回)

国内企業のAI導入、進まず。その理由は？

2023.01.25



企業が人材不足となりつつある現状では、AIをうまく活用することで、生産性の向上やコスト削減につながる。ビジネスに活用できるAIの機能には、需要や売り上げ、生産量などについて過去のデータに基づく「予測」、画像や音声、文字などを認識して分類する「認識」、手順の決まった処理や定型処理を自動化する「自動化」、購入・閲覧履歴など個人の動向を分析し好みに合わせた商品をレコメンドする「提案」、スマートスピーカーやチャットボットなど、言語を処理して会話や問題解決を行う「自然言語処理」などが挙げられる。

AI導入済み・予定の国内企業は約3割弱

AIが精巧な絵を描く、音楽を作る、スマートスピーカーがユーザーの言葉を聴き取って用件に答えるなど、さまざまな話題がある中、「AIを導入済みの国内企業は全体の3割弱」という報道を以前目にした。例えば、総務省の令和4年版情報通信白書の「IoT・AI等のシステム・サービスの導入状況」によれば、導入率14.9%（「予定がある」を含めれば26.5%）という数字が示されている。

この点、活用の割合はもっとあってもいい数字とも思え、令和元年版の情報通信白書においても、中国、米国、欧州主要国を下回るわが国のAIの導入状況が示されている。導入が広がりを見せないのはなぜだろうか。

導入に至らない原因は？… 続きを読む